

都立世田谷総合高校 令和3年度 年間授業計画

教科・科目(単位数)	地歴科・世界史B(4)
対象年次	2, 3年
使用教科書	詳説世界史B(山川出版)
使用副教材	タペストリー(帝国書院)
科目担当	森 菜花

		指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 学期	4 月	先史時代	人類の進化と文明の誕生を理解させる		4
		メソポタミア	古代文明の誕生とその発展を理解させる		4
		エジプト			4
1 学期	5 月	地中海東岸の諸民族			12
		古代オリエントの統一	オリエント世界の諸文明の発展がアケメネス朝ペルシャによる統一に帰結したことを理解させる		
		古代ギリシャ			4
		ヘレニズム	アレクサンドロスの征服によりギリシャとオリエントの文明を融合したことを理解させる		
1 学期	6 月	古代ローマ			8
		キリスト教の成立	ローマによる地中海世界の統一とキリスト教の発展について理解させる		8
		インダス文明	インド古代文明については、未だ未解明の部分が多いことを理解させる		
		古典インド	アーリア人の侵入からインド古典文明が発展したことを理解させる		
		黄河文明・殷・周・秦・漢			
1 学期	7 月		黄河文明の誕生とその発展と拡大について理解させる		4
		魏晉南北朝	漢民族と遊牧民族との関係について理解させる		
		隋・唐	律令制の確立と周辺諸国への影響について理解させる		4
2 学期	9 月	唐末五代	貴族制の衰退と士大夫層の成長について理解させる		8
		宋・遼・西夏	漢民族と遊牧民族の新たな関係を理解させる		8
		モンゴル帝国	イラン系民族の国家形成と東西へのペルシャ文化の影響について理解させる		
		元	モンゴル族による中国支配の仕組みについて理解させる		
		バルティアとササン朝	イラン系民族の国家形成と東西へのペルシャ文化の影響について理解させる		

		指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
2 学 期	1 0 月	イスラム教の成立	モンゴル族による中国支配の仕組みについて理解させる	【観点】 関心・意欲・態度 世界史の基礎的知識・理解 【方法】 提出物や授業への 取り組み等を総合 的に評価する。	8
		アラブ帝国	イラン系民族の国家形成と東西へのペルシャ文化の影響について理解させる		4
			イスラム教の成立を通じて、イスラム教の特質を理解させる		
			アラブ民族の征服活動による、イスラム教の拡大について理解させる		4
2 学 期	1 1 月	イスラム帝国	イスラム国家がアラブ民族支配からムスリムによる支配へと変化したことを理解させる		8
		イスラム世界の拡大	イスラム世界がアフリカやインドに広まったことを理解させる		8
		イスラム文明	イスラム教徒、イスラム文明の特質について理解させる		
		民族大移動	ゲルマン民族による国家建設と西ローマ帝国の滅亡について理解させる		
		フランク王国			
2 学 期	1 2 月		ゲルマン人の国家の中でフランク王国がカトリック教会との結びつきで長く続いたことを理解させる	4	
		ノルマン人の侵入	ノルマン人の活動について理解させる		
		封建社会の成立	異民族の侵入の結果、西ヨーロッパに封建社会が成立する課程とを理解させる	8	
		十字軍	ヨーロッパとイスラム世界の接触としての十字軍を理解させる		
3 学 期	1 月			8	
		都市と商業の復活	十字軍の影響でヨーロッパにおいて商業と都市が復活してきたことを理解させる	4	
		封建社会の解体	貨幣経済の進展が自給自足の荘園経済を解体していく過程を理解させる		
		王権の拡大	封建社会の解体が王権の強化とともに主権国家形成の出発点となったことを理解させる		
		中世ヨーロッパ文化	キリスト教徒ラテン語が中世文化の特質であることを理解させる		
3 学 期	2 月	明・清	皇帝独裁体制の完成と異民族支配による中国の政治的過程を理解させる	12	
		ティムール帝国	ティムール帝国における遊牧民とオアシス民の関係を理解させる		
		オスマン帝国	オスマン帝国における諸民族のあり方とその関係を理解させる		
3 学 期	3 月	ムガル帝国	インド＝イスラムの完成形としてのムガル帝国のあり方を理解させる	4	
		世界史を学ぶのはなぜか	高校で世界史を学ぶ意義について考えさせる		
				計	140